



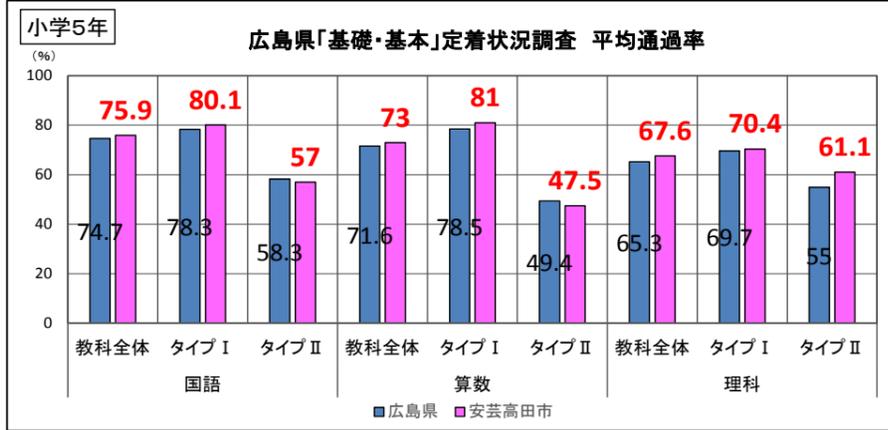
# 平成27年度実施学力等調査の結果について

安芸高田市教育委員会

安芸高田市では、全国学力・学習状況調査、広島県「基礎・基本」定着状況調査を実施しました。その結果から、安芸高田市の児童生徒は、基礎的・基本的な学習内容を概ね身に付けていますが、それを活用する問題（特に説明をする問題）において、小中学校ともに課題があります。（○成果 ●課題）

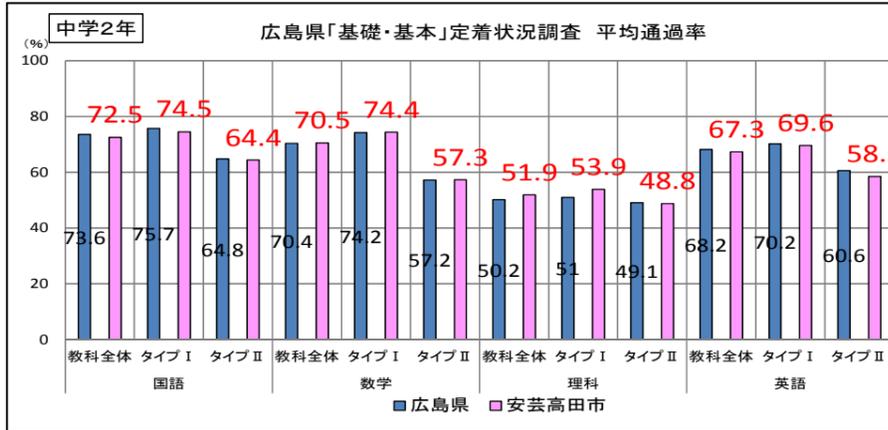
## 広島県「基礎・基本」定着状況調査 国語・算数・理科 6月9日実施

○国語、算数、理科のタイプⅠの基礎的・基本的な内容は、概ね定着している。  
●国語タイプⅡでは、複数の資料から必要な情報を取り出しそれらに関係付けて論理的に説明すること。  
●算数タイプⅡでは、折れ線グラフと棒グラフから特徴や傾向を読み取ること。



## 広島県「基礎・基本」定着状況調査 国語・数学・理科・英語 6月9日実施

○国語、数学、英語の教科全体の基礎的・基本的な内容は、概ね定着している。  
●数学タイプⅡでは、比例のグラフの特徴について、数学的な表現を用いて記述すること。  
●理科は、日常生活における、圧力に関する事象について説明すること。

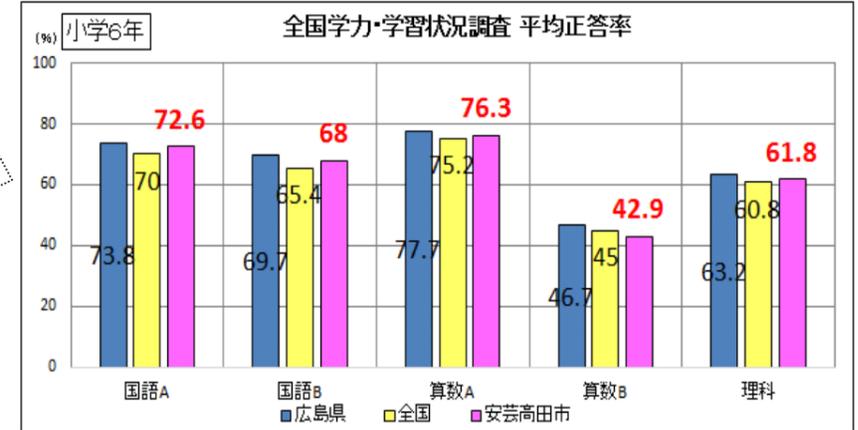


**通過率とは…**  
正答（正しい答え）または準正答（完全な誤りではなく、正答として考えられる答え）であった児童生徒の割合

広島県「基礎・基本」定着状況調査では、調査の種類が次のように分かれています。  
・タイプⅠ…教科で身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼすなどの基礎的・基本的な内容  
・タイプⅡ…教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などに係る内容

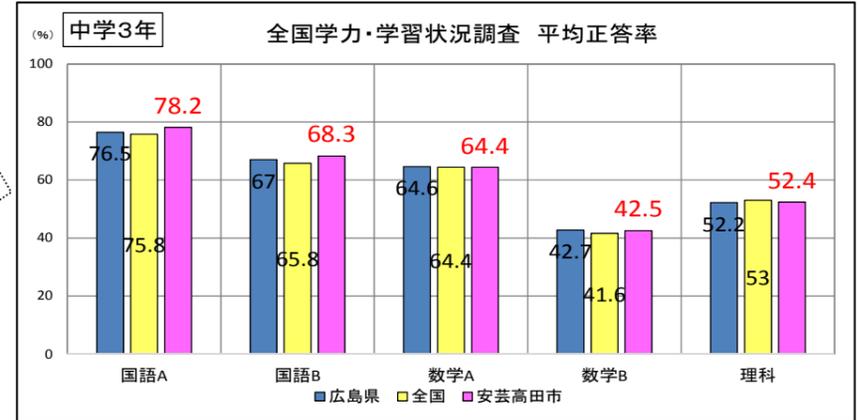
## 全国学力・学習状況調査 国語・算数・理科 4月21日実施

○国語A、国語B、算数A、理科の基礎的・基本的な内容は、概ね定着している。  
●算数Bでは、比較量と割合から基準量を求める問題の正答率が低い。  
●分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を書く問題の正答率が低い。



## 全国学力・学習状況調査 国語・数学・理科 4月21日実施

○国語A、国語B、数学Aの基礎的・基本的な内容は、概ね定着している。  
●数学Bでは、事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明すること。  
●理科では、水の状態変化と関連付けて雲の成因を説明すること。



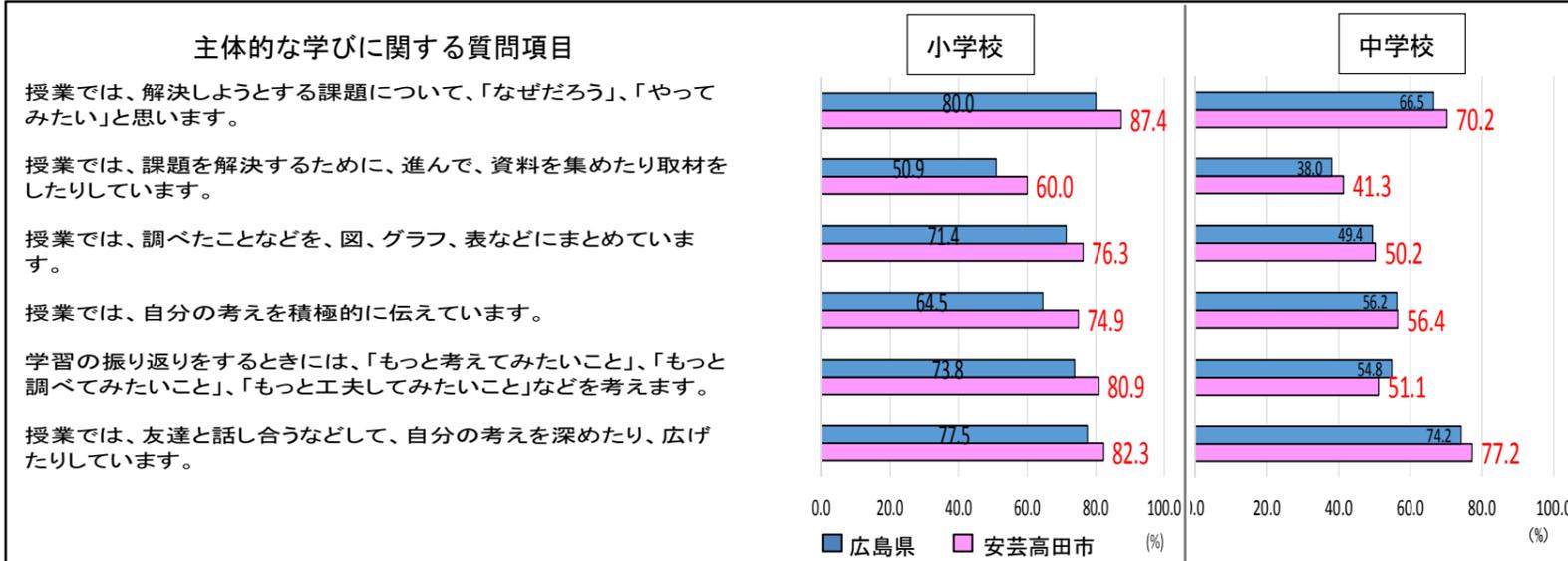
「概ね定着している」とは…  
平均正答率、平均通過率が60%を超えていること。

全国学力・学習状況調査では、調査の種類が次のように分かれています。  
・国語A、算数・数学A…主として知識に関する問題  
・国語B、算数・数学B…主として活用に関する問題

## 〔主体的な学び〕

広島県教育委員会では、平成26年12月『広島版「学びの変革」アクション・プラン』を策定されました。この趣旨は、これからの社会を生き抜くために必要な資質・能力の育成を目指した「主体的な学び」を創造していくこととされています。

平成27年度広島県「基礎・基本」定着状況調査では、質問紙において「主体的な学び」に関する質問がありました。この結果、ほとんどの質問項目において県平均を上回っています。しかし、安芸高田市の児童生徒は、「授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材したりしています」の項目において、小中学校ともに数値が低く、改善を進めていく必要があります。



## 〔安芸高田市教育委員会の取組〕

安芸高田市教育委員会では、児童生徒の学力向上に向けて、次の取組を行います。

- 各種学力調査の結果活用**
  - 結果分析と児童生徒の学習実態の把握
  - 分析結果を基にした授業デザイン
  - PDCAサイクルの確立
- 複数校の協働による授業づくり**
  - 小中連携を核とした授業研究の実施
  - 学習者基点の学びに視点を置いた、研究協議のスタイルの確立
- ICTの活用**
  - ICT機器の整備
  - ICTを活用した授業づくり
- 研修の充実**
  - 市教委主催研修の充実
  - 授業研究、授業づくりを中心とした研修会の充実